

矯正施設の防水改修工事による防水機能の強化

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概要: 山口刑務所の医務棟は屋上の劣化が著しく進行していたところ、防水改修工事により、令和7年8月に発生した豪雨の際も雨水浸水等の被害は生じず、職員等が安全に業務を継続することができた。

対策名: 27 矯正施設の防災・減災対策<5か年加速化対策>【法務省】

■ 実施主体: 法務省(山口刑務所)

■ 実施場所: 山口県山口市

■ 事業概要:

屋上防水層の亀裂や欠損等により、降雨時に雨水の浸水が生ずるおそれがあり、施設の保安性能及び職員等の安全確保に支障を来す可能性があったことから、浸水被害の防止を目的として、庁舎の防水改修を実施した。

■ 事業費: 約955万円(令和5年度)

(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約955万円)

■ 災害の外力、被害と効果:

本施設が所在する山口県山口市は、盆地特有の内陸性気候により降水量が多く、令和7年8月10日に発生した線状降水帯の影響により、大雨警報(土砂災害・浸水害)が発令され、4日間合計雨量が350mmを超える記録的な豪雨となった。

本件改修以前は、屋上防水層の劣化により、大雨の際の浸水による施設機能の低下が懸念されていた。

本工事の実施により、屋上の防水機能が十分に発揮されたため、雨漏り等浸水被害が生じず、職員、被収容者等の安全が確保され、刑事施設として求められる保安性能を維持したまま業務を継続することができた。

対策前



対策後

